

第64回全日本中学校通信陸上競技 北海道小樽後志大会開催要項

第45回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会 兼 国民体育大会（少年B、少年共通種目）選考会

- 主催 (財)日本陸上競技連盟、(公財)日本中学校体育連盟
(財)北海道陸上競技協会 北海道中学校体育連盟
- 主管 小樽後志陸上競技協会、小樽市中学校体育連盟
- 後援 北海道教育委員会、NHK、朝日新聞社、小樽市、小樽市教育委員会、小樽市体育協会
- 期日 平成30年6月23日(土) 24日(日)
23日 競技開始午前10時
24日 開会式8時45分、競技開始9時30分
※ 1日目(23日)に実施する種目
男子 3000m、4種競技(110mHと砲丸投)
女子 4種競技(100mHと走高跳)
- 競技場 小樽市手宮公園陸上競技場(第3種公認陸上競技場) 小樽市手宮2丁目5番1号

6. 競技種目

(男子16種目)

1年100M、1年1500M、2年100M、3年100M

(共通) 200M、400M、800M、1500M、3000M、110MH、4×100MR

走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投(5kg)、

4種競技(1日目①110mH、②砲丸投:4kg、2日目③走高跳、④400m)

(女子12種目)

1年100M、2年100M、3年100M

(共通) 200M、800M、1500M、100MH、4×100MR

走高跳、走幅跳、砲丸投、

4種競技(1日目①100mH、②走高跳、2日目③砲丸投、④200m)

ハードル競技の高さは、男子 高さ91.4cm、インターバル 13.72m-9.14m・・・14.02m

女子 高さ76.2cm、インターバル 13.00m-8.00m・・・15.00mとする。

7. 競技規定

- 本大会は2018年度日本陸上競技連盟規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

8. 参加資格

日本陸上競技連盟に選手登録をおこない、且つ、北海道中学校体育連盟に加盟する中学校の生徒で学校長が参加を認めたもの。

9. 参加制限

- 1人2種目以内とする。(リレーを除く)
- 学年種目には該当学年以外は参加できない。
- 1校についての種目ごとの参加人数は規定しない。

10. 表彰

各種目の優勝者にはバッジを(リレー競技は除く)、8位までに賞状を授与する。

11. 申込方法

① 所定の様式（申込一覧表）により申し込むこと。

E-mailで申し込むこと。（osrk_morosawa@yahoo.co.jp）

小樽後志陸上競技協会ホームページ（<http://osrk.jp/>）大会情報より、ダウンロードしてください。

また、ファイル名は学校名がわかるよう（例：「菁園中学校 通信申込」）にしてください。

② 番組編成の関係上最高記録を記入のこと（未公認記録でも可）。

リレーの参加者には一覧表に○をつけること。

③ 申込一覧表は、男女同じシートに記入して構わない。性別は男子1、女子2の記号で記入すること。

④ 申込締め切り 6月5日（火）午後5時必着。

参加金は当日持参でかまいません。

⑤ 問い合わせ先

小樽市立菁園中学校

通信陸上小樽後志大会総務 諸澤 要

問い合わせはなるべく『E-mail』をお願いします。

E-mailで申し込んだ場合、こちらから受け付けした旨を返信いたします。

返信がこない場合は早めに問い合わせください。

12. 参加料 1人 1種目 800円

2種目 1000円

リレー 1チーム 1200円

申し込み後、不参加があっても参加金は納入のこと。

13. その他

① ナンバーは主催者で用意するが、安全ピンは各自で用意すること。

② 監督者会議は行わない。

③ 本競技場は全天候性ウレタン舗装です。トラック競技は9mm以内、走高跳は11mm以下の専用ピンを使用のこと。

④ 参加校監督におかれましては、競技役員への協力をお願いいたします。一覧表に希望審判職種をご記入下さい。（2日日程ですが1日目は補助員を配置しておりません）

⑤ 全道大会への参加資格は標準記録A（別紙）突破者。

⑥ 本大会において標準記録Bに達したものは、第45回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場することができる。（追い風参考記録は対象としない）

⑦ この大会の3年生種目については、国民体育大会（少年B、少年共通種目）選考会を兼ねる。

⑧ 競技日程等大会に関する情報は、小樽後志陸協ホームページ（<http://osrk.jp/>）大会情報にて随時お知らせします。（出場者一覧、競技プログラムも更新する予定です）

⑨ 個人情報については、大会活動と記録の提示のみに利用するものとし、これ以外の目的には利用しません。

⑩ ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツ等の着用は禁止する。ハーフパンツやスパッツだけを着用すること。

⑪ 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

（四種競技については男子1m10、女子1m00からとする。）

男子	1m20	～	1m70まで、5cm上げ	以後、3cm上げ
女子	1m05	～	1m45まで、5cm上げ	以後、3cm上げ

（練習の高さは、男子1m15、女子1m05とする、選手の状況にあわせ2段階で練習を行う）

別紙 標準記録 A

男子 (13 種目)		女子 (10 種目)	
種 目	写 真 判 定	種 目	写 真 判 定
1 0 0 m	1 1 " 8 5	1 0 0 m	1 3 " 3 5
2 0 0 m	2 4 " 4 0	2 0 0 m	2 8 " 1 5
4 0 0 m	5 6 " 4 5		
8 0 0 m	2 ' 1 3 " 0 0	8 0 0 m	2 ' 3 2 " 0 0
1 5 0 0 m	4 ' 3 3 " 5 0	1 5 0 0 m	5 ' 1 7 " 0 0
3 0 0 0 m	9 ' 5 7 " 5 0		
1 1 0 m H	1 7 " 8 4	1 0 0 m H	1 7 " 1 0
走高跳	1 m 6 5	走高跳	1 m 4 0
棒高跳	2 m 8 0		
走幅跳	5 m 7 0	走幅跳	4 m 6 5
砲丸投	1 0 m 3 0	砲丸投	9 m 5 0
四種競技	1, 7 5 0 点 (砲丸 4 k g)	四種競技	1 8 7 5 点
4 × 1 0 0 m R	4 7 " 7 0 (学校単独チーム)	4 × 1 0 0 m R	5 4 " 0 0 (学校単独チーム)

※ 四種競技の個々の記録が標準記録を突破していても、個々の種目に出場することはできない。

別紙 標準記録 B

男子 (13 種目)		女子 (10 種目)	
種 目	写 真 判 定	種 目	写 真 判 定
1 0 0 m	1 1 " 2 0	1 0 0 m	1 2 " 5 3
2 0 0 m	2 2 " 7 5	2 0 0 m	2 5 " 8 0
4 0 0 m	5 1 " 6 0	4 0 0 m	—
8 0 0 m	2 ' 0 0 " 5 0	8 0 0 m	2 ' 1 6 " 5 0
1 5 0 0 m	4 ' 0 8 " 5 0	1 5 0 0 m	4 ' 3 8 " 0 0
3 0 0 0 m	8 ' 5 7 " 0 0	3 0 0 0 m	—
1 1 0 m H	1 5 " 0 0	1 0 0 m H	1 4 " 8 0
走高跳	1 m 8 5	走高跳	1 m 6 0
棒高跳	4 m 0 0	棒高跳	—
走幅跳	6 m 5 5	走幅跳	5 m 4 5
砲丸投	1 3 m 0 0	砲丸投	1 2 m 5 0
四種競技	2 5 0 0 点 (電気計時)	四種競技	2 6 3 0 点 (電気計時)
4 × 1 0 0 m R	各都道府県 1 チーム (学校単独チーム)	4 × 1 0 0 m R	各都道府県 1 チーム (学校単独チーム)